**障害福祉サービス事業BCP診断チェックリスト【2025年版】（監修：RESUS社会保険労務士事務所）**

以下のチェック項目は、厚労省の指定するBCP（業務継続計画）の整備状況を確認するための診断ツールです。✅ 該当する項目にチェックを入れてご利用ください。

**1. BCP基本方針・様式整備**

☐　厚労省様式1（基本方針）を作成している

☐　感染症BCP（様式2）を作成している

☐　災害BCP（様式3）を作成している

☐　各様式に必要な項目（優先業務、体制、対応手順など）が記載されている

☐　作成したBCPは、印刷・保管または電子ファイル化されている

☐　法人本部・関係部署とも共有されている

**2. 訓練・点検の実施と記録**

☐　年1回以上のBCP訓練（感染症・災害）を実施している

☐　訓練記録（日時・対象・内容・反省点など）を文書で保管している

☐　年1回以上のBCP点検（中身の見直し）を行っている

☐　点検記録・見直し履歴を残している

☐　訓練や点検の内容が、BCP内容に反映されている

**3. 職員への周知・対応体制**

☐　BCPの内容を職員に説明・周知している

☐　担当責任者・代行者をBCP上に明記している

☐　感染症発生時・災害発生時の初動対応フローを整備している

☐　連絡体制表（職員間・自治体・医療機関等）を整備している

☐　利用者・家族向けの案内文や掲示物の整備がある

**4. 事業継続のための準備・対応力**

☐　非常時に継続すべき「優先業務」を明確にしている

☐　代替支援・外部委託等の検討を行っている

☐　災害備蓄品（飲料水・食料・衛生用品など）を備蓄している

☐　停電・断水・交通遮断等に対応する想定訓練を行っている

☐　利用者対応・家族連絡のマニュアルを整備している

**5. 点数化による目安（参考）**

| **チェック数** | **整備状況の目安** |
| --- | --- |
| 20〜25項目 | 整備は概ね良好。実地指導にも対応できる水準。 |
| 15〜19項目 | 基本は整備済だが、実効性の確認が必要。 |
| 10〜14項目 | 書類はあるが、形骸化や記録不足の可能性あり。（9個以下はBCP未整備の可能性大） |

**（注意）訓練☐点検の未実施は、実地指導や監査で指摘対象**になります。「様式はあるが中身が曖昧」「訓練記録が残っていない」などは整備不十分と判断される可能性があります。